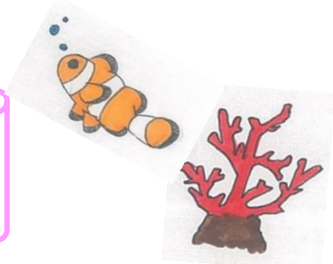
2017年　2月27日　発行

はと時計　2017年　2・3月合併号



チャレプロ
司書体験メンバー特別号

世界中に広がる環境問題特集

～私たちは、特にサンゴと地球温暖化に注目しました～

『サンゴとサンゴ礁のビジュアルサイエンス　美しい海に生きるサンゴの不思議な生態を探る』
中村庸夫著　誠文堂新光社　2012年

サンゴやサンゴと共に生きる生き物の生態が、たくさんのカラー写真で詳しく載っています。
ぜひ読んでみてください！

『エリセラさんご』
水木桂子ぶん　和田誠え　リブロポート　1986年

サンゴがアクセサリーになることや、海洋汚染によりたくさんのサンゴが死んでいるもしくは死にかけていることはみなさんニュースなどで耳にしていることでしょう。
では、そもそもサンゴが何かは知っていますか？動物？植物？どうやって増えていくの？敵はいるの？
本書では、これらの疑問に易しく答えてくれます。詳しい解説付き。

『南極がこわれる Antarctic Meltdown』
藤原幸一写真・文　ポプラ社　2006年

地球温暖化の影響を強く受けている南極についての一冊です。
地球温暖化により南極の氷が溶けてコロニーは壊れ、ペンギンのヒナは死んでしまっています。地球温暖化が及ぼす影響をペンギンの目線から見ます。

『流氷の伝言　アザラシの赤ちゃんが教える地球温暖化のシグナル』 小原玲著　教育出版　2009年

アザラシの赤ちゃんを撮り続ける中で地球の異変が明かされる…。
小さな命を、地球を守れるのは誰なのか…！
かわいい写真に癒されつつ、あなたも一度考えてみませんか？

『沖縄　海は泣いている－「赤土汚染」とサンゴの海』
吉嶺全二写真・文　高文研　1991年

沖縄のサンゴを救うため写真を撮り続ける吉嶺さん。
現状を世の中に訴える中直面した「壁」とは…！？
何がサンゴを破壊し、今私達が何をすべきなのか…
考えさせられる一冊です。

『クマノミとサンゴの海の魚たち』(ちしきのぽけっと5)
大方洋二写真・文　岩崎書店　2007年

サンゴ礁のイソギンチャクにすむクマノミのなかまたちやサンゴをかくれがにする魚など、サンゴの海にはいろいろな生き物たちがいろいろな関係の中でくらしています。そんな生き物たちについて、写真とともに教えてくれる一冊です。

『はじめてのエシカル　人、自然、未来にやさしい暮らしかた』
末吉里花著　山川出版社　2016年

エシカルとは「倫理的」「道徳的」という意味ですが、
「人や社会、環境に配慮されている」ということです。
ことしのバレンタインのチョコレートは買った？作った？
地球にいいチョコレートやお菓子はいかが？
エシカルなブランド一覧がこの本には載っています。
フェアトレードは少々お高い。
けれどその価格には生産者の賃金だけでなく、彼らが暮らす上で不可欠なインフラや教育のための資金も含まれています。
ネイティブ・アメリカンは地球を先祖から受け継いだものではなく「未来からの借り物」と考え、きれいなままで返さなくては、と考えます。
温暖化が進行すると異常気象による災害や水不足、干ばつによる農産物の不作、それに伴う食糧不足による飢餓生態系の破壊、生物種の絶滅、海面上昇による土地の侵食、熱波による健康被害や死亡のリスクという問題が発生します。
人にやさしく、地球にやさしい生活をはじめませんか？あなたのできる範囲でかまわないから。

『海底美術館』 ジェイソン・デカイレス・テイラー 写真　ジェームズ・バクストン 文　内山卓則・尾澤和幸 訳　日経ナショナルジオグラフィック社　2013年

海底に沈んでいるテイラーの彫刻物は、人工の礁となり、サンゴの成長をうながし、海に生息する生物の数を増やしています。水中自然主義者として、サンゴ保全にとりくむテイラーは、繊細でもろいサンゴ礁を守るため、天然のサンゴ礁の方には観光客が殺到しないように、何もない沖合の場所を選び、展示しているんだって。海底に沈む彼のつくる彫刻物は、時が経つにつれ、海の生態系の変化にさらされて次々と姿を変える、生きた彫刻物！
海の生き物たちとテイラーの彫刻物の神秘で美しい海底美術館へみなさんをご招待♪どうやっておおきな彫刻物を海底に沈めたのか、そこにも海の自然を汚さないよう工夫がされていました…海底彫刻のメイキングものっていますよ！

『不都合な真実』 アル・ゴア著　枝廣淳子訳　ランダムハウス講談社　2007年

地球温暖化により海面が上昇し、北極や南極の氷が溶けたり、海のサンゴが死んだり動物にも影響が出ています。地球温暖化により何が変わったのか、続くとどうなるのか、そして私たちが今するべきことは何なのか。元アメリカ副大統領が書いた一冊です。

『地球温暖化、しずみゆく楽園ツバル～あなたのたいせつなものはなんですか？～』
山本敏晴写真・文　小学館　2008年

温暖化の影響で、将来、沈んでしまうかもしれない「ツバル」。
そこで暮らす子供たちの願いとは…。